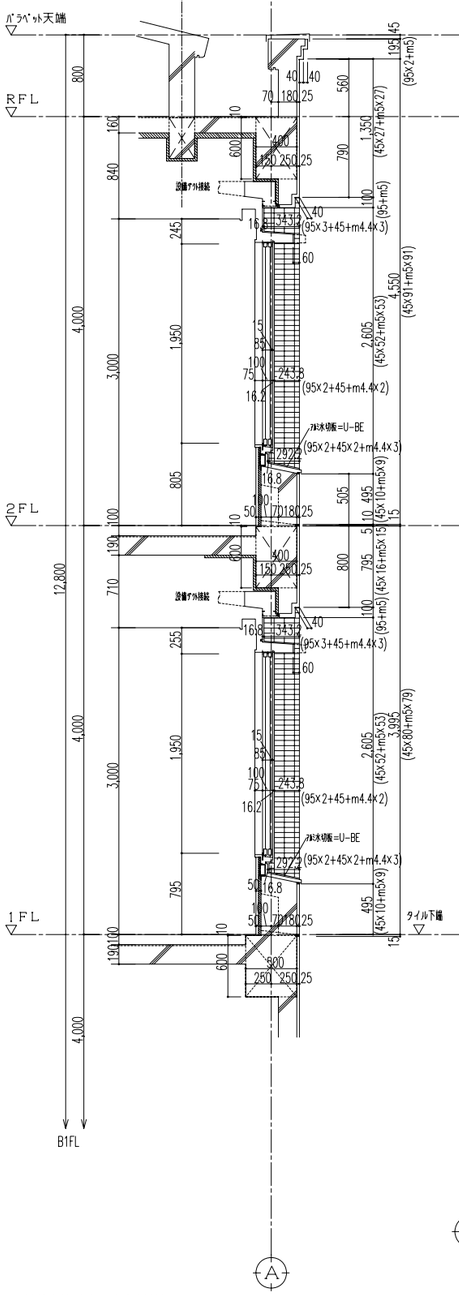
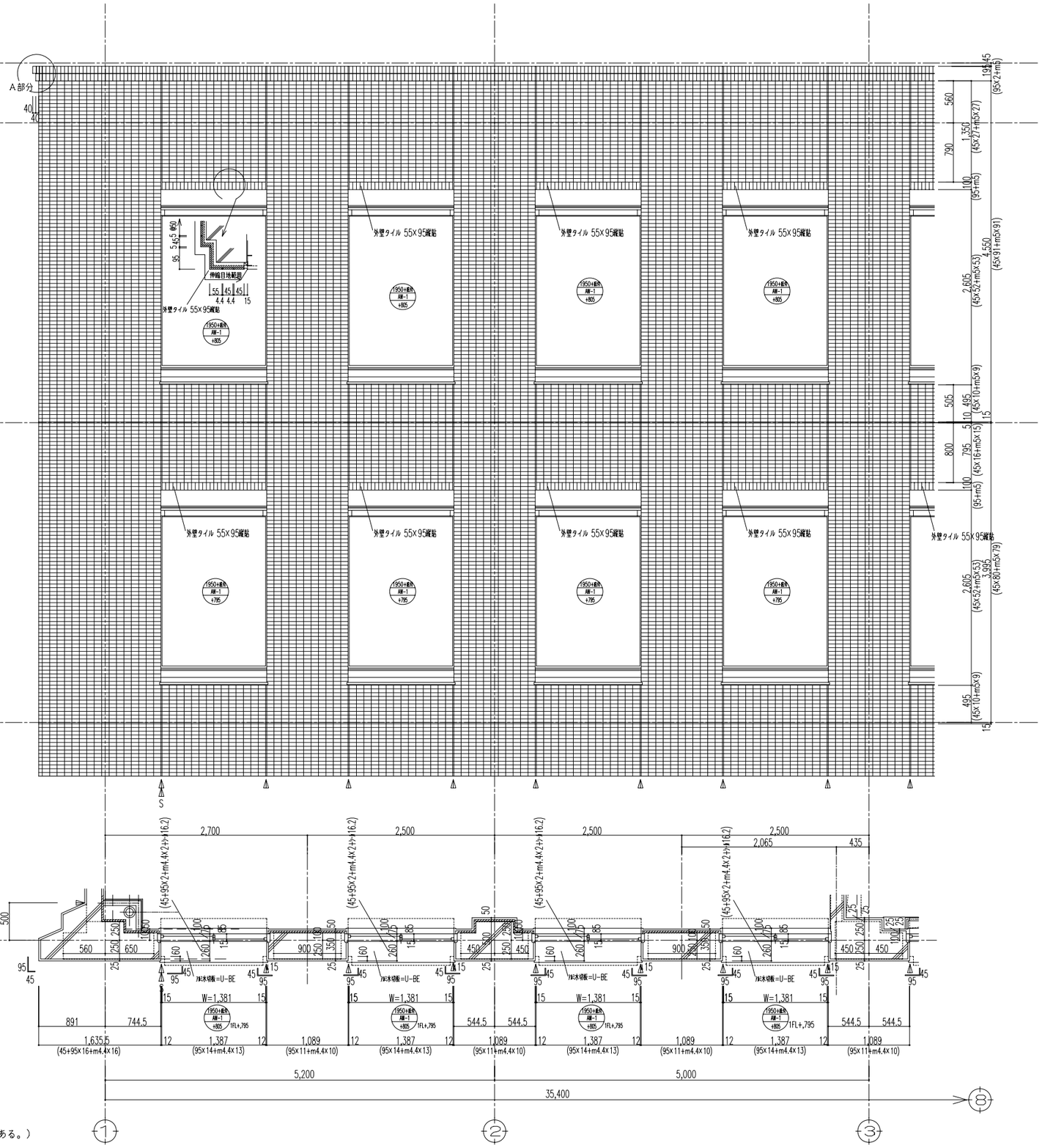
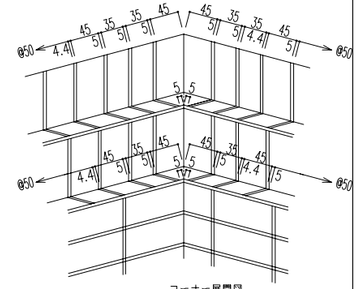
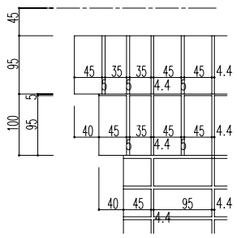
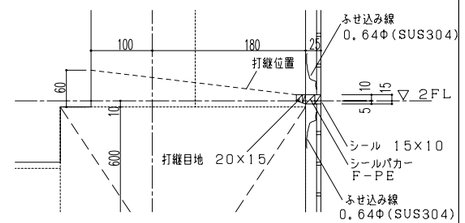







A部分詳細図 1/5



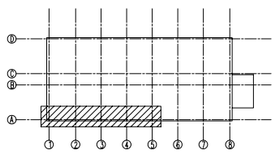
2階打継目地詳細図 1/5

凡 例

※ー外壁タイル 45×95横貼(一部縦貼)
(打継目地 W=15)

▽ ―― タイル伸縮目地 W=12

▽S ―― 構造スリット


キープラン

タイル割付方法(高さ方向割付)

CASE-1---標準タイプ
設計階高さを元に、タイル目地5mmで標準施工する。
(打継目地位置がSLラインより上下する為、打継目地位置の調整が必要)

CASE-2---目地調整タイプ
設計階高さを元に、タイル目地を調整して施工する。
(本図面は、タイルが45×95の為タイルユニット295mm角を使用して、
ユニット間の目地を調整し施工する。)

CASE-3---スラブ高さ及び打継目地調整タイプ
設計者了解の上で、タイル標準施工に合わせて、スラブ高さ及び打継目地を調整する。
(スラブ高さ変更に伴い、影響のある部分を十分検討した上で設計者の了解を得る必要がある。)
(建基法;消防法等他関係法令や、階段、天井高さ、設備等納りを十分検討する。)

訂正	特記事項	受領	(設計監理)	検図	所長	工事課長	工事係	製図	工事名称	○○○○○新築工事	縮尺	図面整理番号
	質疑項目1=タイル割付に合わせてサッシ位置等調整しました。 2=A、D通のサッシ位置が平面と矩計図、詳細図で相違しています。平面を正と考えました。 3=A、1通頂部コーナーに、W=35の割物タイルが入る。 4=AW/1頂部角に、95×55役物タイルが入る。		(施工)		決定		作成		図面名称	タイル割付図-1(標準タイプ)(参考図)	1/30	